

# 高齢者への虐待を地域で防ごう

## —高齢者虐待防止ネットワーク—



高齢化や核家族化の進行で、家族や地域のつながりが希薄になりつつある昨今、高齢者を介護する人の介護疲れ、孤立やストレスが原因での高齢者虐待が問題になっています。市では、地域包括支援センターに高齢者虐待相談の窓口を置き、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を実現するために、地域における様々な関係者による地域の連携・支援体制のネットワークを構築し、高齢者虐待防止等権利擁護に関する取り組みを進めています。

例えば、こんな話を聞いたり、こんなことを見たら、それは高齢者への虐待かもしれません。

虐待というと、手をあげるなど暴力的行為を思い浮かべますが、虐待にあたる行為はそれだけではなくありません。虐待する側もされる側も自覚をしていないことが、問題を複雑にしています。

身体的  
「あんなところにアザができるかな？叩かれたり、つねられたりしてるみたい…」  
経済的  
「知らないうちに息子が年金や貯金を使い込んで、自分のお金がなくなって話していたのを聞いた」  
心理的

「最近、おばあちゃんを叱ったり、怒鳴る声が聞こえてくる。お隣の様子が心配…」  
世話の放棄

「最近、体が汚れているみたい。お風呂に入れてもらってないみたい…」  
「病院に行ってはダメだと子供に言われて病院に行っていないって、この前話していたけど…」

「家族にごはんを食べさせてもらっていない、お腹がすいているから何か食べさせてって近所のおじいちゃんが我が家に来たけれど…」

高齢者虐待は誰にでも起こり得ること。家族の介護をしている方は一人で悩まないで。

- ・介護をしている方のリフレッシュを
- ・ストレスをためない
- ・気持ちをはかり合える仲間づくり
- ・在宅介護者の集いなどの交流会に参加してみる

### 虐待を防止するために

高齢者虐待を未然に防ぐためには、地域の皆さん、民生委員、町内会などによる、日頃からの地域における見守り・支えあいが必要です。こんなことに気をつけてみましょう

挨拶を交わす、声をかける

日常生活での挨拶や、道で会って元気がないような時には声をかけをする。

見守り

最近姿を見ない、夜になっても部屋の明かりがつかない、ということはありませんか。



- ・介護負担を軽くしましょう
- ・他の家族・親戚と介護を分担する
- ・介護保険サービスなどを利用して介護負担を軽くする
- ・医師やケアマネジャー、地域包括支援センターに相談する

地域包括支援センターに相談する



### 虐待かな？と気づいたら

もしも、地域などで「虐待かもしれない」と気付いたら、一人で悩まず、速やかに市役所へ相談しましょう。相談や通報の秘密は守られます。

### 【相談窓口】

名寄市地域包括支援センター  
(大通南1丁目 名寄庁舎福祉事務所内) 01654 2111  
1・風連町西町196・1風連庁舎内 01655 2511